

Weekly Report



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度
国際ロータリーのテーマ
人類に奉仕するロータリー

2016～2017年度
名古屋瑞穂ロータリー会長のテーマ
さらなる前進

創 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：八木沢幹夫
幹 事：関谷 俊征
クラブ委員長：星野 一郎
例 会 日：毎週木曜日PM12:30～
会 場：ビルトシ名古屋

事 務 局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 AMMNATビル7F
T E L：052-211-3803
F A X：052-211-2623
M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1790回例会

～ロータリー親睦活動月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2017年6月15日(木) 晴れ 第43回

司 会：高原昌宏会場委員
斉 唱：「それでこそロータリー」「四つのテスト」
ビ ジ タ ー：江南RC 牧本哲一さん

副会長挨拶

市岡正蔵副会長

零戦の名前は良く聞かれますが、秋水という名の戦闘機を皆さん知っていますか。当時このことを知っているのは約3,000人だけと言われており、それくらい、このプロジェクトはシークレットで進められていました。当然国も、そのことを無かった事にしたかったようですが、開発者の意向を飲み、無かった事には成らなかったようです。その開発者の強い意向とは、どんなことがあっても敵を倒すことでした。秋水とはそんな思いで開発された、ロケット戦闘機です。今日は、秋水の功績「高度10,000メートルのしのぎ合い」と題してお話をします。



私も、このロケット戦闘機の話は、今日ビジターとして出席されている、江南RC牧本様のお取り計いで、当クラブ高須さんを通じて実際にこの戦闘機を見学したことにより、秋水の存在を初めて知りました。

最終間近の昭和19年、秋水はドイツのロケット戦闘機(Me163)を原型として、より軽く創ること、そんなコンセプトのもと、開発が進められていきます。ところが事情があり、原型(Me163)の設計資料はほぼ手に入らず、ほとんどが三菱重工の設計で、試作を含め、わずか11ヶ月で完成させました。我が国、最初のロケット戦闘機の誕生です。より軽く創ることがコンセプトですが、具体的には、主翼と尾翼は木曾檜で作り、その上に布を貼り、ラッカー塗装のようなもので、塗り固め、強度を出しています。木材を利用したのは、当時の材料事情もあったようです。それでも金属に比べて強度が劣るため、相当な「空気力学」を持って設計されています。このことから、どんなことがあっても、敵を倒すという、開発者の強い意向が伺えます。そして、最大の特徴は飛行時間です。わずか10分しか飛ばません。そのため、飛び立つと同時に、重い車輪を切り離し、ロケットエンジンを全開し、ほぼ垂直に近い角度で一気に高度10,000メートルを上昇します。その間約3分・残り7分で、上空10,000メートルでのしのぎ合い・戦いをを行います。もう燃料が有りません。これで10分間の任務は終了します。帰還するには、上空10,000メートルから、垂直に制御し落ちていきます。この時のスピードは時速500キロ。途中体制を立て直し、グライダーのように滑空し、スノーモービルのような「ソリ」を出して、大きな鳥が着陸するように、機首をあげて着陸します。そして燃料を補給し、車輪を装着し、再び飛び立つのです。三菱重工資料館 館長のお話によると高度10,000メートルでの相手は、B-29です。秋水は明らかにこのB-29を標的に開発されたロケット戦闘機です。B-29は高度9,000メートルで飛来してきます。そして7分あれば上空10,000メートルから下に見える

B-29に体当たりすることも想定に入ったとのこと。これからという時に終戦となり、不運の戦闘機とされています。一機は終戦時アメリカ軍に没収され現在も残っているようです。アメリカ軍は、主翼と尾翼が木で作られていたことに、さぞ、びっくりしたことと思います。これは約72年前の出来事です。今これと同じような出来事が高度10,000メートルどころか「上空はるか彼方」で展開されています。三菱重工資料館では、このロケット戦闘機を複製し、後世に残すために展示しています。興味のある方は、一度見学されてはどうでしょうか。

出席報告

長坂邦雄出席委員

会員67名 出席45名 (出席計算人数48名)

出席率 77.6% 6月8日は補填により 89.1%

ニコボックス

長坂邦雄ニコボックス委員

- ・誠に勝手ながら、私高原昌宏はこの度、中部ケーブルネットワーク株式会社の社長退任を機に、この6月末をもって名古屋瑞穂ロータリークラブを退会させていただきます。これまで大変お世話になりました。誠にありがとうございました。これからも名古屋瑞穂ロータリークラブが発展されることを心より祈っております。
高原昌宏さん
- ・6月27日は私共の結婚記念日です。
岩田吉廣さん
- ・5月4日は？回目の結婚記念日でした。すっかり忘れていました。本日入江さんのイニシエーションスピーチ頑張ってください。
稲葉徹さん
- ・湯澤さん、森さん、先日ゴルフ例会ではお世話になりました。ありがとうございました。
安岡克明さん
- ・本日は、野球部の皆様に集まっていただきミーティングをしました。今後が楽しみです。
鈴木淑久さん
- ・今日はイニシエーションスピーチをさせていただきます。うまく喋れるか不安です。
入江理さん
- ・おじいちゃんになりました。女の子でした。暫く騒がしくなりそうです。
亀井直人さん
- ・世界大会行ってきました。仕事の都合で一足早く昨夜帰国しました。時差ボケで辛いです。パインハースト最高でした。
村上学さん
- ・入江さん2回目のイニシエーションスピーチは短くお願いします。10分もあれば済みますネ!!
内田久利さん
- ・入江さん、二度目のイニシエーションスピーチ頑張ってください。
湯澤信雄さん
- ・新会員鈴木雅登さんが入会されます。皆さんよろしくお祈り致します。
市岡正蔵さん
- ・広島は赤いユニホームで一杯でした。うらやましいです。来年は名古屋もドラゴンズブルー一色にしたいものです。
森裕さん
- ・牧本さん瑞穂RCへようこそ。例会を楽しんで下さい。
高須洋志さん

新会員入会式



鈴木雅登さん
有限会社 八百宣 代表取締役社長
職業分類:青果卸売業

改めまして八百宣の鈴木でございます。八百屋でございます、クラブ内に鈴木さんが5名見えるということなので、屋号で呼んでいただいても結構です。気軽に「八百宣」と呼んでいただければと思います。頑張っていきたいと思いますので、これからどうぞ末長く宜しくお願い致します。

幹事報告

関谷俊征幹事

- ・本日例会終了後、例会場にて臨時理事会を開催します。
- ・6月22日(木)第5回CF(次年度行事予定)を行います。

委員会・同好会報告

ゴルフ部会6月度(第378回)

開催日:6月9日(金)

	氏名	グロス	HDCP	ネット
優勝	星野一郎さん	94	19	75
2位	鈴木淑久さん	81	3	78
3位	安岡克明さん	97	18	79

7月ゴルフ例会は7月12日(金)「愛知カンツリー倶楽部」にて開催いたします。同日の17:30より、総会を「蓬莱軒 神宮店」にて行います。

卓話

入江理さん

新会員イニシエーションスピーチ

新しく入会させていただきました入江理です。「おさむ」という字は理科の理と書きます。実はイニシエーションスピーチをさせていただくのが今日で2回目です。1回目は、平成9年3月にこのクラブに入会し、その時の4月から5月にイニシエーションスピーチをしました。一度退会したところを皆さんの温かいお気持ちで戻らせていただきました。これからも宜しくお願いします。

7年のブランクもありますので、今日は少し自分のお話をさせていただきますと思います。私は昭和24年11月9日に東京の吉祥寺で生まれました。3歳から名古屋にいましたので名古屋人です。昭和24年生まれで、団塊の世代の最終世代です。大学は千葉の方へ行きましたが、それ以外の小学校から高校までを名古屋で過ごしました。仕事は、建築の設計事務所を営んでいます。大学を卒業後、ある会社で10年間過ごし、その後独立し33~34年間設計事務所を営んでいます。今は、昭和区の五軒屋町に事務所を構え、5~6名のスタッフと、住宅や病院関係、電力会社関係の事務所や大型の店舗などの案件を請け負っています。土日は趣味をして過ごします。ゴルフ、麻雀が好きです。先程、副会長が零戦の話をされていましたが、ラジコンという無線操縦で飛行機やヘリコプターを飛ばすことも趣味の一つです。

ラジコンは実におもしろく、9年程続いています。矢作川の河川敷のところに飛行場があり、そこでラジコンの飛行機を飛ばしています。飛行機の大きさは翼長が約1m~1m50cmで全長が1m前後、ヘリコプターも翼長が約1m20cm~1m30cmのもので、最近ではモーターで飛ばすものが多いのですが、私はエンジンが好きなので、馬力が2~3馬力前後のエンジンで飛ばしています。今日は会場にラジコンを持参しました、これはプロポという操縦機です。これを上下左右に動かして飛行機を飛ばすわけですが、操縦は非常に難しいです。

飛行機は両翼に梶が4つあります。まず、主翼にエルロンというものが付いており、これは機体を右左に傾ける作用があります。次に、後ろの翼が動き機体が回転します。尾翼の後ろにラダーというものが付いています。これで方向を操作し、向きを右に向けたり左に向けたりします。それから、後翼の水平翼にエレベーターというものが付いています。これは機体を上に向かせたり下に向かせたりするのですが、実際には機体のお尻が上がったり下がったりという動きをする機能があります。最後に、スロットルという、アクセルと同じ働きをするものがあります。エンジンの回転を上げたり下げたりすることで、プロペラの回転数を増減してスピードを調整します。この4つの機能を同時に使いながら飛ばします。

飛行機は速度はおおよそ80km~100kmです。この送信機で届くのが1kmぐらいで、実際は1mの長さの機体は200mも離れると豆のように小さくなってしまいますので、大体100m~150mの所を旋回させたり宙返りさせたりして飛ばします。真っ直ぐ飛ぶことはほんの少しの間しかないのです、必ず舵をどちらかに切ります。打ち間違えをすると時速100kmで飛んでいる飛行機は、たちまち地面に向かって激突してしまいます。飛行場にはドラム缶があり、そのドラム缶の中に壊れた飛行機を入れ、涙ながら火をつけます。墜落はよく起こることで、去年の飛行大会では我々のクラブが10機飛ばした内の9機が墜ちました。試合となると心が緊張しますからよほどのことがない限り上手い人でも墜ちます。ヘリコプターはもっと墜ちます。飛行機は主翼の両翼で浮いているので、ある程度スピードに乗って前進すれば真っ直ぐ飛んでいきますが、ヘリコプターは主翼と尾翼がぐるぐると回転しているものなので、パッと離れた途端にあっという間に墜ちます。ただヘリコプターのいいところは、飛行機は墜ちると捨てなければなりません、ヘリコプターは落ちて壊れた部品だけ全部外して新しい部品に取り替えるとまた再生するところです。ヘリコプターの操縦については、飛行機の十数倍難しいです。バランスを取る事が非常に難しく、ヘリコプターを水平にじっと飛ばせる技術を習得するのに一般の方で1年間程かかります。私は今まで何十機墜としたか分かりませんが、最初の半年間は浮きませんでした。壊れては直しを繰り返して1年間続け、ようやく浮いた時はすごく嬉しかったものです。最近は何んとか浮くようになり、操縦できるようになりました。

もし若い人がやるなら、上達は早いと思います。これはコンピューターのゲーム機をいじっているのと全く同じですから、若いの方が本当は上手いはずなのですが、やっているのは65歳過ぎのおじいさんばかりです。お年寄りですので、遠くの方に墜ちた時に拾いに行くのが大変です。墜ちた機体を放っておく事はできないので、3~4人でジャングルみたいなところを掻き分けて半日程かけて探しますが、これはこれでいい運動になります。何よりもラジコンの良さは、本物の飛行機と操縦が一緒というおもしろさです。もし、興味があればお教えします。



例会のご案内

- 今週の行事 6月22日(木) 第5回クラブフォーラム
(次年度行事予定)
- 次週の行事 6月29日(木) 下記納会場 所:か茂免
時 間:18:00~20:00
- 次々週卓話 7月6日(木)
テ - マ:会長挨拶
会員卓話:稲葉徹さん